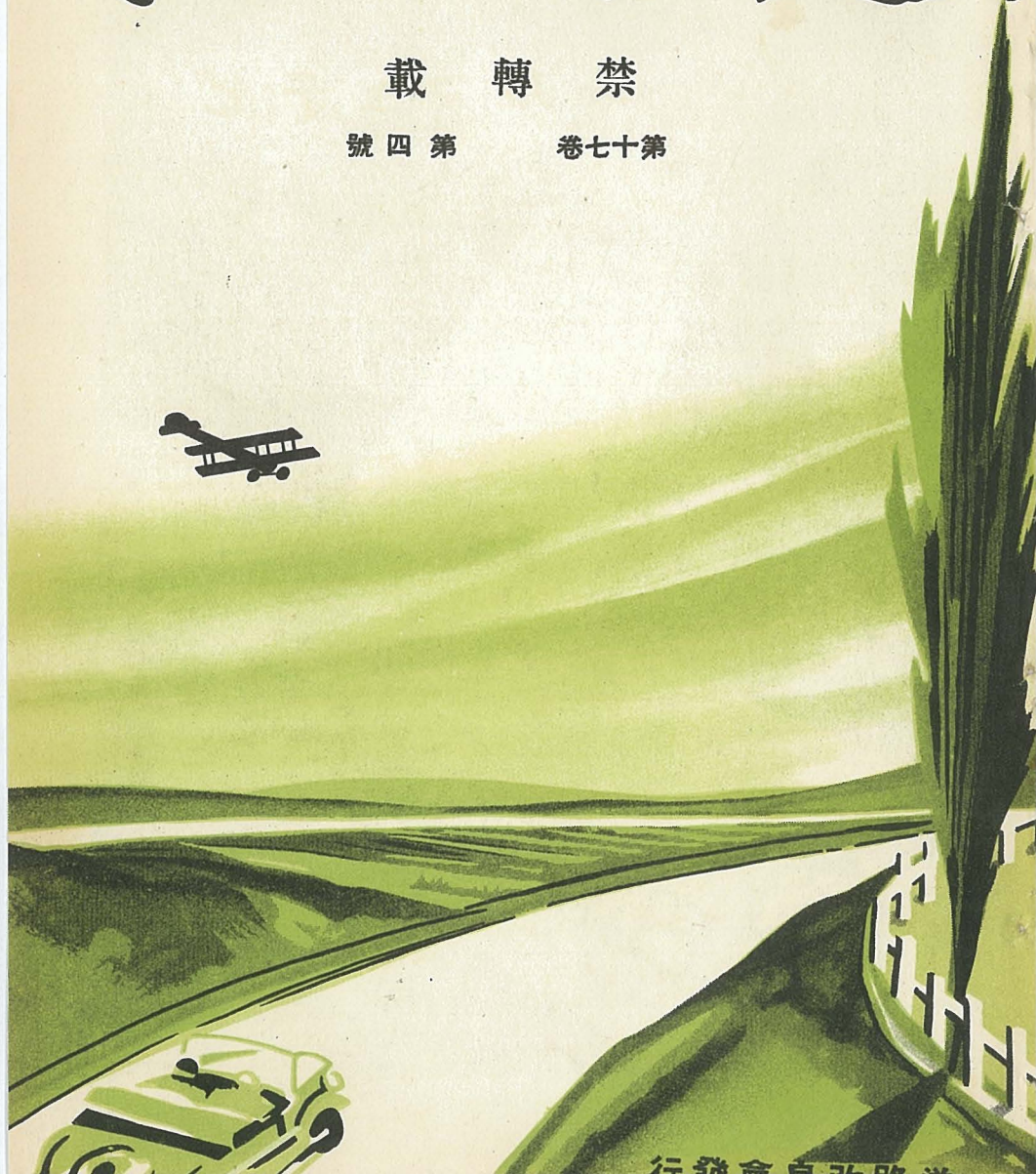


# 良政の路道

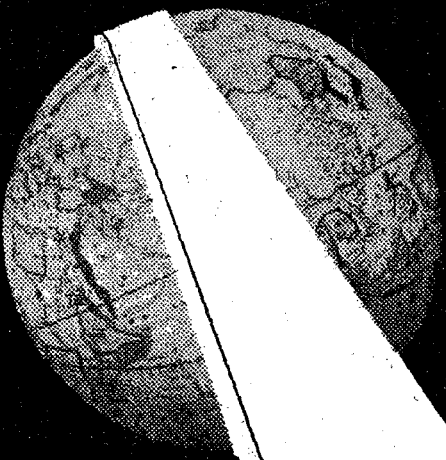
載 轉 禁

號 四 第

卷 七 十 第



鋪裝なら何んでも…

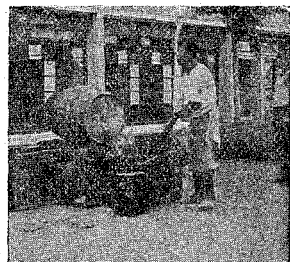


# 日本鋪道株式會社

東京・丸之内  
神戶・名古屋・大阪・京都・福岡・台北・新京

混合用エマルビア施工順序

- 1 混合用エマルビア
- 2 混合用骨材〔砂利〕
- 3 混合
- 4 下層混合材練上
- 5 下層混合材敷均



- 6 碎石撒布
- 7 輾壓(第一回)
- 8 封絨層  
透入用エマルビア撒布
- 9 同上  
碎石撒布
- 10 仕上輾壓



專賣特許

瀝青乳劑エマルビア

製造販賣及鋪装工事請負

東京瀝材工業所

東京市京橋區銀座西三丁目一番地祿々館

電話京橋一、三二五番

區普澤町一、一三九番

電話鶴見一、一三一番

電話鶴見三、二九〇番

大倉土木株式會社

東京市京橋區銀座西二丁目二、九

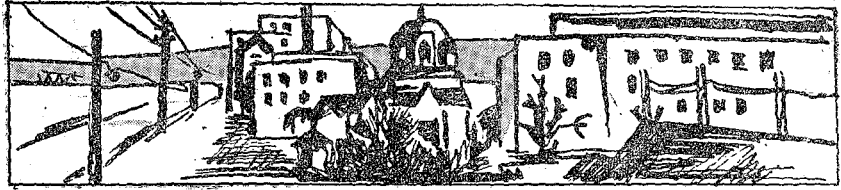
電話京橋自二、一三〇 陸二、四九番

製造工場

仙臺市

東

電話鶴見三、二九〇番



道路の改良 第十七卷 第四號 目次 昭和十年四月一日發行

口繪 丸子橋 (東京府)

卷 頭 言 ..... (二)

論 說

道路社會學 ..... 慶應大學教授 奥井復太郎 (三)

時 論

内閣審議會の設置と土木國策の樹立 ..... 大 篠 篁 (四)

研 究

道路と公共照明 ..... 内務事務官 武若時一郎 (一七)

技 術

隅肉鎔接に於ける應力分布 ..... 内務技師 青木楠男 (一六)

本邦舗装用タールの性質と用途 ..... 内務技師 西川榮三 (一五)

資 料

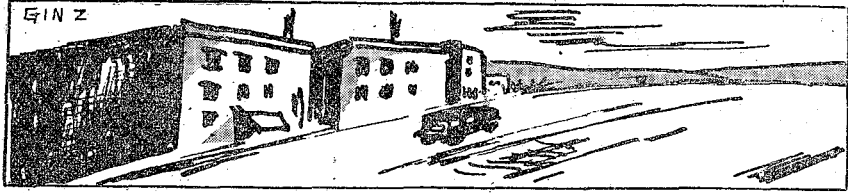
米國に於けるガソリン税の實狀 (完) ..... 伊藤大三 (空)

海外道路時事

獨逸高速自動車のイン橋・獨逸に於ける一九三五年式  
自動車・デンマーク國の自轉車路・佛國セーナ河の新道  
路橋・瑞西に於ける冬季登山用橋

内務省土木試驗所長 物部長 穗 (古)

工 學 博 士



漫 錄

滿洲飛行の話 ..... 北斗老星(二)  
 国道八號線 ..... 工務博士 金森誠之(九)

批評と紹介

第七回國際道路會議に於ける各國の

報告の概要(二) ..... 工務博士 藤井眞透(一〇)

朝鮮の道路 ..... 拓務技師 三浦磐雄(三〇)

道路交通保安の徹底 ..... 太田勝彌(三七)

地 方 通 信

東北地方……關東地方……北陸地方……東山地方……東海地方……近畿地方……中國地方……  
 四國地方……九州地方……臺灣地方

假 面 劇

百萬の味方……口頭の秋風……追善道路補修……ダルマの行衛不明……水戸西山莊の歌……  
 腰が鳴る……道路らしい道路を……舗装道の悩み……

雜 報

土木地方債許可概要・寄贈圖書紹介・廣島縣に於ての修路工夫の選奨・西義一氏と宮崎正夫氏の新任・道路延長調

法 令 ..... (一六)

叙 任 辭 令 ..... (六七)

編輯室の外 ..... (六九)

附録第八回道路職員講習會講演集(七)

優良品國産



製品ノ選擇ハ先ツ原料ノ  
選擇カラ、瀝青乳劑ノ  
良否ハ原料アスファルト  
ノ選擇カラ

瀝青乳劑ノ選擇ハ先ツ原料ノ  
選擇カラ、瀝青乳劑ノ  
良否ハ原料アスファルト  
ノ選擇カラ

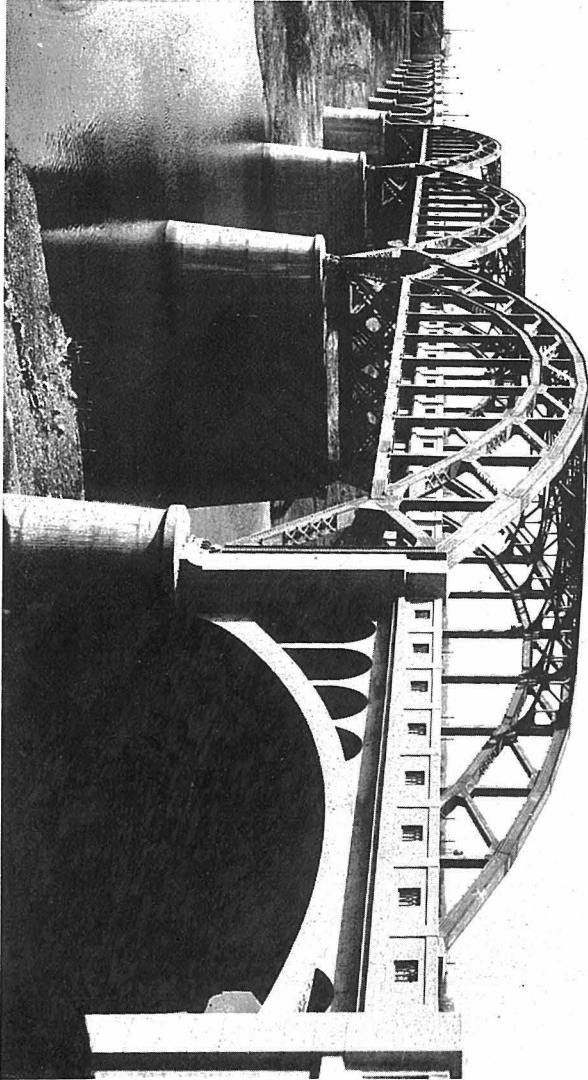
瀝青乳劑ノ選擇ハ先ツ原料ノ  
選擇カラ、瀝青乳劑ノ  
良否ハ原料アスファルト  
ノ選擇カラ

日本石油アスファルト一手販賣

瀝青部 會社 株式 物産 野 淺

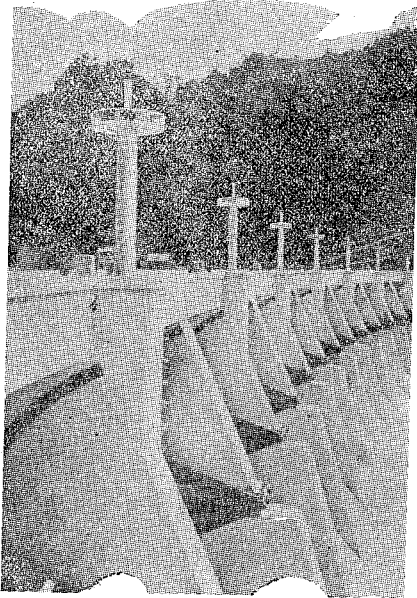
東京丸ノ内海上ビル(電話丸ノ内2581-2589)

(府 京 東) 橋 子 丸



**名線路** 大下道縣府  
**種種** 架梁に川  
**各種** トーリック  
**構造** 鋼骨結合及び拱トリーク  
**位置** (道縣府定指) 練和山崎  
**長全** 米三七九三  
**間徑** 米四六二  
**幅効有** 米一一  
**間徑** 米〇〇〇、八五二(内)  
**負** 縣川奈神は園  
**名線路** 大下道縣府  
**種種** 架梁に川  
**構造** 鋼骨結合及び拱トリーク  
**位置** (道縣府定指) 練和山崎  
**長全** 米三七九三  
**間徑** 米四六二  
**幅効有** 米一一  
**間徑** 米〇〇〇、八五二(内)  
**負** 縣川奈神は園  
**功竣** 月十年七和昭  
**期工** 月三年十和昭

# 新製品 低熱セメント發賣!!!



## 淺野マスコン・セメント (ASANO MASCON CEMENT)

### ・ 特 色 ・

- (一)比重重ク、凝結遅キコト。
- (二)コンクリートノ容重重ク、密度大ナルコト。
- (三)粉末ノ表面積大ニシテ、コンクリートハプラスチック且ツウオーカブルナルコト。
- (四)發熱少ク、コンクリートノ温度上昇少キコト。
- (五)強度發熱比高ク、且ツ強度増進率大ナルコト。
- (六)空中收縮少ク、且ツ耐侵蝕性ナルコト。

### ・ 用 途 ・

一般ニ厚キ塊コンクリート工事 (Mass-Concrete) ニテ、容積變化又ハ不均齊應力ノ發生ヲ厭フモノ。(例、重力堰堤、砲壘、橋脚及ヒ機械基礎其他早期高強度ヲ要求セサルモノ、終局ノ硬化ノ低熱タルヲ要求スル工事)

淺野マスコン・セメントト米國 Boulder dam 用  
低熱セメントトノ試験比較 (18 °C)

種 類	比 重	粉末程度	凝 結		水 和 熱 (H) Cal/g		空中收縮率 mm/10mm	
		cm <sup>3</sup> /g	凝始	凝終	7 日	28 日	7 日	28 日
淺野マスコン・セメント	3.23	1430	5:22	7:14	53.9	75.0	6.1	7.8
米國低熱セメント	3.22	1330	3:17	5:25	52.3	72.3	6.9	10.0

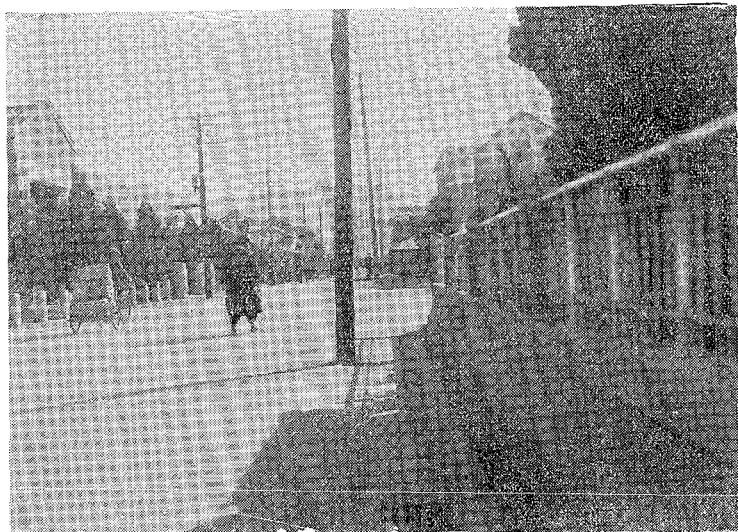
	水量(%)	モルタル強度 (kg/cm <sup>2</sup> )						強度發熱比	
		1 日	2 日	3 日	7 日	28 日	7 日	28 日	
		耐 壓 力 (C)						C/H	
淺野マスコン・セメント	7.0	81	196	303	434	659	8.1	8.8	
米國低熱セメント	6.5	94	164	226	345	487	6.6	6.7	
		抗 張 力 (T)						T/H	
淺野マスコン・セメント	6.8	11.5	21.8	31.1	35.1	41.3	6.5	5.5	
米國低熱セメント	6.3	13.0	18.6	22.5	27.4	36.4	5.2	5.0	

## 淺野セメント株式會社

東京市麹町區丸ノ内ノ六 (海上ビル新館三階)



— 說明書贈呈 —



朝鮮全羅北道全州邑エムラス舗装

# エムラス道路工業株式會社

東京市向島區吾嬬町西四ノ二四  
電話(墨田)二六三七番

瀝青乳劑製造販賣  
乳劑エムラス舗装  
其他各種道路舗装  
一般土木建築工事

出張所  
旭川市、弘前市、佐賀市、岐阜市

道路鋪裝工事其他一般土木建築工事請負

瀝青乳劑アスメント

(滲透用・混合用)製造販賣

碎石割栗石其他土木用石材採掘販賣

# 昭和工業株式會社

專務取締役  
藤宮惟一

本社 東京市麹町区内幸町一ノ三

大阪七儿

電話銀座 (57) 自五二八八  
至五二八九

瀋陽 五場 東京市 芝区 月見町 二ノ四  
石村 瀧堀 場 静岡縣 田方郡 對馬村 富戸  
道業所 大阪 后古屋 札幌 台北 京城  
大連

# 日本道路鋪裝株式會社

營業種目

瀝青乳劑鋪裝

瀝青加熱鋪裝

其他一般鋪裝

下水及道路

其他土木工事

各種アスファルト販賣

東京市麴町區丸ノ内二丁目二番地 丸ビル六階六〇二區

電話・丸ノ内(23)・長四八二九番・四九八二番

# 道 路 鋪 裝

(型 錄 贈 呈)

本 社 東 京 市 赤 坂 區 青 山 北 町 四 ノ 一 〇 三

電 話 青 山 (36) 八 一 四 八 番 四 九 七 三 番

## 東 邦 工 業 合 資 會 社

營 業  
目 錄

各 種 鋪 裝 工 事 請 負

鋪 裝 材 瀝 青 乳 劑 製 造 販 賣

一 般 土 木 建 築 工 事 請 負

# 道路研究資料

第二輯 定價金六十錢

## 道路の設計工法並に計畫に就て

本篇は内務技師工學博士藤井眞透氏著作にして左の事項に就き記述せらる。

第一章 總説・第二章 滿洲國の道路の現狀・第三章 殖民地及未開地方の道路の計畫及工法・第四章 産業經濟の見地より見たる道路の總延長・第五章 道路系統の決定方法・第六章 路線の形狀に就て・第七章 路面の構造及工法に就て・第八章 交通車輛の構造と路面の性質・第九章 道路改良の財源に就て・第十章 道路と鐵道、空路との關係に就て 以上

發行所 道路改良會

小倉岩油株式会社  
専属販賣店

フロントスマルト

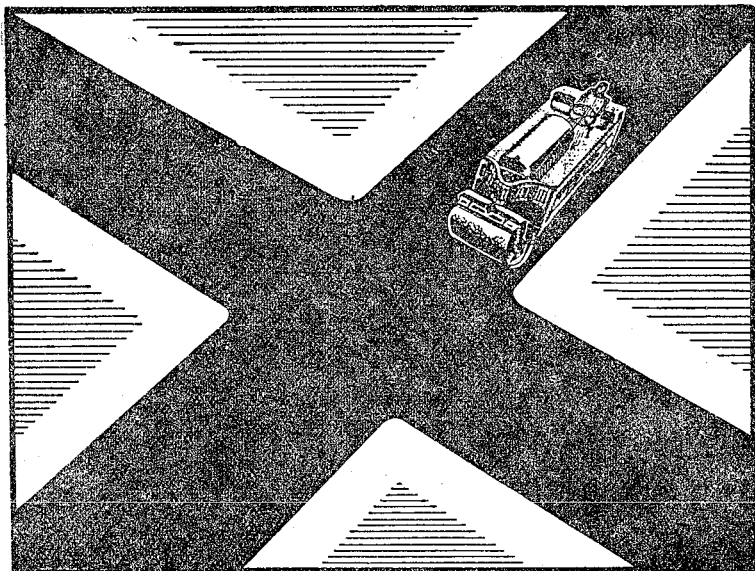
ストレートスマルト

ウォータースマルト



本店 東京市麴町區丸ノ内 仲六號館  
出張所 大阪市西區土佐堀大同生命ビル

電話 1654  
丸ノ内 5014  
電話 3118  
土佐堀 4343



# 事工裝鋪路道トルアフスア

事工裝鋪トルアフター オウ劑乳青瀝

賣販理代トルアフター オウトルアフスア倉小

# 社公式株木土市都

部路道

八六二二橋京話電・目丁一橋京區橋京市京東

昭和十年

道路の改良

四月一日

第七十卷  
第四號



## 言 頭 卷

現時の幼青年は禮を輕すること甚しく憂慮に堪へざることであると、蓋し禮は恭  
 敬の至れるものにして威儀作法のみを云ふに非ず即ち社會の秩序を保つに必要な  
 なる人倫の大道に外ならず故に禮は上下の紀なり、天地の經緯なり、民の生ずる所  
 以なりと左傳の著者は説いたものである、我國の最高の合議機關である帝國議會  
 に於て一學者の言句の一部を捕へて恰も亂臣賊子であるかの如き辭を弄し甚しき  
 は之を學匪とさへ評しやる者がある、非禮の甚しきものと謂はざるを得ない、素  
 より所説を異にする者の間に於て互に論難批評するは社會の常道にして復た敢て  
 咎むべき所にあらず否寧ろ社會進歩の爲之を歡迎すべきことである、然るに一は  
 他を以て學んで思はざるが故に殆きの徒なりと排し一は他を以て思ふて學ばざる  
 が故に閑きの輩なりと斥け互に相争ふものは議院内に於ての言論の自由なるが故  
 に吾曹之を責むるに由なきも之を院外にまで波及せしめたるの責任は當事者之を  
 負はざるべからざるものと信ずる、又彼の曖昧模糊として捕捉し難きを材料とし  
 道聽途説を利用して五十萬元或は四十五萬圓問題を掲げて議政壇上に大聲し徒ら  
 に萬犬をして虚を傳へしむるに至るが如き之れ復非禮の甚しき所業である、一國  
 の選良として深く戒心を要する。一齊は曰く言語は人の信を取る所亦自重せざる  
 を得んやと善哉言や又曰く好んで大言を爲す者あり、其人必らず小量なり、好ん  
 で壯語を爲す者あり、其人必ず怯なりと實に然り妄りに他人の舊事をあばきて之  
 を評議する者あり其人、必らず奸佞なりと言ふも敢て誣言にあらざるへきか、老  
 齡者と幼青年者とを問はず識量弘恢にして禮を知るの人物を待望せざることを得  
 ず之れ舉國一致の願望である三省せよ。(洮民)